

3 個人結果票について

P 4

質問紙調査の結果～指導者の態度の達成目標

結果のある部分を身に付けることで...

達成目標ごとの達成状況

ご感想へのコメント

P 1

平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査 個人結果票【中学校3年生】

埼玉県学力・学習状況調査結果

教科に関する調査結果(2～3ページ)の目方

それぞれの学力レベルに当てはまる問題の例

学習アドバイス

- (1) 学力のレベルなどの見方について
- (2) それぞれの学力のレベルで正解できる問題の例
- (3) 今までの学力の変化について

- (6) 質問紙調査の結果
- (7) 自由記述欄について
- (4) 学習に関するアドバイスについて
- (5) 教科の領域等別正答率など

P 2

国語

教科に関する調査結果

数学

英語

P 3

国語

数学

英語

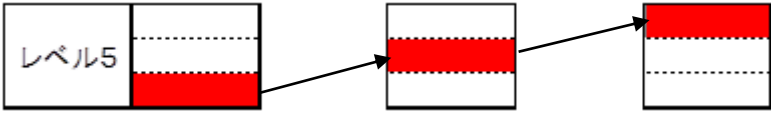
教科の領域等別正答率

※本結果票は、【中学校2・3年生用】です。
 【小学校4～6年生用】【中学校1年生用】
 は国語と算数・数学の2教科になります。

(1) 学力のレベルなどの見方について【個人結果票P 1参照】
 学力のレベルはバーの位置で表しています。学力のレベルは、1～12段階ありますが、測定は各学年7レベルの間で行います。各学年の測定範囲は、各学年を縦に見た白い部分です。

学年	学力のレベル	学年	学力のレベル
小学校4年生	レベル1～レベル7	中学校1年生	レベル4～レベル10
小学校5年生	レベル2～レベル8	中学校2年生	レベル5～レベル11
小学校6年生	レベル3～レベル9	中学校3年生	レベル6～レベル12

1つのレベルは、それぞれ3層に分かれており、同じレベルの中でも、スモールステップで学力の伸びがわかります。
 例えば、同じレベル5の中でも、学力のレベルが高くなるとバーの位置が変わります。



※前学年でのバーの位置と、今回のバーの位置を比べると、学力の変化が分かります。

(2) それぞれの学力のレベルで正解できる問題の例【個人結果票P 1参照】
 調査は4月実施のため、各教科とも調査問題の出題範囲は前学年の内容となります。
 レベルごとに分けられた問題の例は、実際の調査問題のうち、当該レベルの児童生徒が70%程度の確率で正答できる問題を示しています。
 全体の調査結果からの例ですので、すべての児童生徒に当てはまるものではありませんが、県全体における学年の傾向として参考にしてください。

(3) **今までの学力の変化** について【個人結果票P 2, 3 参照】

「児童生徒の学力の変化」について、次のような形でコメントを記載しています。

あなたの学力は、「レベル11」まで伸びました。

コメントは、次の①～⑧のパターンがあります。

	児童生徒の学力の変化の状況	表示されるコメント
①	・学力が伸びて、レベルが上がった場合	あなたの学力は、「レベル〇」まで伸びました。
②	・同じレベル内で、伸びがあった場合	あなたの学力は、「レベル〇」の中で伸びがありました。
③	・学力の位置が前年度と同じだった場合 ・学力の位置が前年度より下がった場合 (レベルが1つ下がった場合を含む)	あなたは、「レベル〇」の学力があります。 (〇はH29の児童生徒の学力レベルの数字)
④	・2つ以上レベルが下がった場合 ・正答数が0問であった場合 (学力のレベルの は表示されません)	学校の先生等と、学習などについて相談をしてみましょう。
⑤	・全ての調査問題に正答した場合	あなたの学力は、レベル〇以上になりました。 (〇は当該学年での最高レベルの数字)
⑥	・本年度の調査は実施したが、昨年度の調査を未実施の場合	あなたは、「レベル〇」の学力があります。 (〇はH29の児童生徒の学力レベルの数字)
⑦	・本年度の調査を一部教科未実施の場合 (昨年度実施・未実施の場合とも)	未実施教科：本年度の調査を受けていないため、今回の学力のレベルは表示できません。 (実施教科については①～⑥の状況に応じたコメントが表示されます。)
⑧	・本年度の調査を全教科未実施の場合 (個人結果票の返却はありません)	—

※個人結果票を返却する際にお願いしたいこと

【①②⑤の場合】(「学力の伸び」が見られた場合)

- ・ 本調査のねらいを実現できるよう、学力の伸びた教科について、**児童生徒一人一人の1年間のがんばりを認めたり、ほめたりする**ことで、児童生徒が自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるような言葉かけをしてください。
- ・ その際、「教科の領域等別正答率」や「県全体の正答率分布」なども参考にしながら、よさを具体的にほめるよう心がけてください。

【③④の場合】(学力の位置が前年度と同じ、または前年度より下がった場合)

- ・ 伸びている他の教科や、「教科の領域等別正答率」「県全体の正答率分布」を参考に、よい部分をほめることを中心に言葉かけをしてください。
- ・ 学力が前年度と同じか下がっている児童生徒については、「授業への取組」「学習習慣」「生活習慣」などにつまずきや悩みがある可能性があります。
- ・ 個々の学習方法や生活上の悩みの聞き取り、**教育相談などを行うことで**、児童生徒の状況を把握し、助言し、その後の取組等を見届けるなど十分な支援をしてください。

【⑥の場合】(昨年度未実施の場合)

- ・ 「教科の領域等別正答率」「県全体の正答率分布」を参考に、よい部分をほめることを中心に言葉かけをしてください。

【⑦の場合】(今年度一部未実施の場合) 実施した教科については、①～⑥に準じてください。

【⑧の場合】(今年度全教科未実施の場合)

- ・ 調査結果票はありませんが、日常の授業等でがんばっているところ等、ほめることを中心に言葉かけをしてください。

(4) **学習に関するアドバイス** について【個人結果票P 2, 3参照】

アドバイスは3段構成になっています。

例)「同じレベル内で、伸びがあった場合」のコメント

あなたの数学の学力は、昨年度1年間の学習により、着実に伸びています。自分の努力に自信を持ち、今後も学習に取り組んでいきましょう。授業への取り組み方や学習習慣を見直し、改善することで、さらに大きく伸びることが期待できます。

図形は、大変よくできました。図形の学習は、平行線の性質など今まで学習した性質を使い、いろいろな視点から考えることが大切です。3年生では相似な図形の学習があるので、図の中に含まれるいくつかの性質を関連させて考えを深めましょう。

また、関数の学習は、式から交点を求めたり、式をグラフに表したりする問題ができるようになることが大切です。3年生では放物線の学習があるので、分かっていることを、式・表・グラフと関連させ、ていねいに取り組みましょう。

今回のあなたの学力レベルを参考に、県ホームページの「復習シート」を活用して、さらに自分の力を高めていきましょう。

学力調査の結果
・学習習慣 等

今後の学習への
アドバイス
(領域等別)

復習シートの活用

- ・ 上段では、児童生徒の学力の状況について説明し、「学力の伸び」を認めるコメント、授業や学習習慣などへのアドバイスを記載しています。
- ・ 中段では、領域等別に、今後どのような学習がさらに効果的であるかを記載しています。
- ・ 下段では、復習シートの活用を促しています。

「**学力レベルが前年度と同じだった場合**」「**学力レベルが前年度より下がった場合**」については、「必要に応じて、学校の先生やご家族の方と相談してみるのもよいでしょう。」などのコメントを記載しています。児童生徒の現状や要望に応じて**面談などを行い**、つまずきや課題を共有しつつ、よいところを認め、子供たちが自分をさらに伸ばし、自分のよさを生かしていけるよう働きかけましょう。

(5) **教科の領域等別正答率** 及び **県全体の正答率分布** について

【個人結果票P 2, 3参照】

- ・ 「教科の領域等別正答率」には、領域ごとの正答数、設問数、正答率を県全体の平均も併せて記載しています。レーダーチャートの実線(—)は児童生徒の正答率、網掛け(■)になっている部分は、県全体の平均正答率となっています。学力の変化の状況以外に、児童生徒のよさを認める際の参考としてください。
- ・ 「県全体の正答率分布」は、人数を横軸とした県全体の分布を棒グラフで示しています。当該の児童生徒が含まれる集団を表す棒グラフの色を ■ として、県全体におけるおおよその位置が分かるようになっています。ただし、**本調査の目的は、児童生徒一人一人の「学力の伸び」や変化を把握してよさを伸ばしていくことにあります**ので、県全体の中での位置に重きを置いた働きかけや指導は控え、あくまで**参考として御活用ください**。

(6) 「質問紙調査の結果～規律ある態度の達成目標～」について【個人結果票P 4参照】

- ・ 規律ある態度の達成目標について、児童生徒の回答状況を示しています。

(7) 自由記述欄の活用について(例)【個人結果票P 4参照】

- ・ 夏季休業中の学習計画や取組などについて児童生徒が記入し、夏季休業明けに提出させる等、担任が確認して返却する。
- ・ 保護者にごんばりを認めたり、励ましたりするコメントを記入してもらう。
- ・ 返却に十分な時間が取れない場合に、担任があらかじめごんばりなどを認めるコメントを記載しておく。